


しやつきー

- じぶんの町を良くするしくみ赤い羽根共同募金
- ファミリーサポート会員になりませんか？
- 身体障害者福祉協会厚岸町分会
- 訪問介護のまめまめ知識
- ケアマネジャーのいるところ
- 厚岸町立特別養護老人ホーム心和園だより
- あっけしの輪～木嶋昌史さん



10月23日（日）、子育て団体あそぼーのがハロウィンイベントを実施。子ども達は各ブースでゲームにチャレンジし、勝っても負けてもお菓子をもらい喜んでいました。親子で紙飛行機を折ったり、ブロックで遊んだり、多世代や親子の交流があり、楽しい一日となりました。



じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金



運動期間 10月1日～12月31日まで

今年度期待額 2,000,000円

赤い羽根共同募金は、「じぶんの町を良くするしくみ」を合言葉に、地域を循環する募金として、みなさまに協力をお願いしています。

ご協力いただいた募金は、地域の福祉団体やボランティアの活動、その他様々な形で厚岸町の地域福祉を支えています。

厚岸町での募金方法

- 戸別募金 / 自治会を通じて、世帯ごとに行う募金
- 法人募金 / 訪問集金を通じて、企業・団体・商店などが行う募金
- 職域募金 / 企業、団体単位で職員に呼びかけて行う募金
- 学校募金 / 福祉教育の一環として学校を通じて行う募金
- 街頭募金 / 人の集まる場所、イベント会場等街頭で行う募金
- その他募金 / 寄付金付きピンバッジなどの募金



令和3年度に

赤い羽根共同募金が応援した団体から
お礼のメッセージをいただきました！

令和4年度のつかいみち



- ・ 会員交流生きがい事業（身体障害者福祉協会厚岸町分会）
- ・ 社会研修事業（工房るうぶ）
- ・ レスパイト事業（障がい者・児を持つ親の会）



- ・ 会員研修交流会（老人クラブ連合会）
- ・ 生きがい事業（老人クラブ連合会）
- ・ ふれあい会食会（社会福祉協議会）



- ・ 読み聞かせ事業（ちいさな絵本箱）
- ・ 親子でるるる（地域子ども会育成連絡協議会）
- ・ 親子の交流事業（あそぼーの）



- ・ 医療講演会（難病連厚岸・浜中支部）
- ・ コミュニティカフェ（社会福祉協議会）
- ・ たすけあいチーム助成（社会福祉協議会）



コロナ禍の中、子ども達にイベントの経験をさせてあげることができました。また、お散歩を含めたハロウィンイベントということで、地域のお店にも協力をもらうなど、地域の方々との繋がりも楽しめました。ありがとうございます。

赤い羽根チャリティーパークゴルフ大会の結果報告

9月25日、宮園運動公園パークゴルフ場にて『赤い羽根チャリティーパークゴルフ大会』を開催しました。

この大会は、町民の身近なスポーツであるパークゴルフを通じて赤い羽根共同募金のPRと、プレーを楽しみながら募金協力することを目的としています。

当日は男女合わせて40名に参加していただき、53,436円の募金が集まりました。

また厚岸漁業協同組合と釧路太田農業協同組合から優勝景品を寄贈いただき、男女上位5名と福祉賞、ブービー賞の方々はたいへん喜んで景品を受け取っていました。



優勝した大崎孝さんと村上美代子さん

《成績は次のとおり》

【男性の部】

【女性の部】

優勝	大崎 孝	村上美代子
準優勝	米内山法敏	岩谷 博子
3位	工藤 啓治	竹中久美子
4位	椛澤 康博	長谷川美千子
5位	高島 一彰	佐齊栄美子

赤い羽根寄付金付きグッズの紹介

寄付金付きピンバッジ(全4種)
500円～の募金で1つ贈呈

◆エゾシカ ◆エゾリス ◆初音ミク ◆雪ミク



デザイン
未定

お問合せは共同募金委員会事務局まで！

3年振り！ 牡蠣まつりでの街頭募金

10月9日、コロナ禍の影響により3年ぶりとなった牡蠣まつり会場での街頭募金を実施しました。

朝から牡蠣まつりは大盛況で、ものすごい人の数とイベントの高揚感のなか、短時間の募金活動でしたが3,971円の募金が集まりました。

ご協力ありがとうございました！



今年もフオトスポットできました

昨年好評だった赤い羽根フオトスポットを今年も設置しました。

写真には写っていませんが赤いステップも置いていますので、お子様でもちょうど良い位置での撮影が可能です。



みなさま、ぜひ写真撮影にいらしてください。

大雨災害義援金受付中

令和4年8月3日から大雨災害義援金
(山形県,新潟県,石川県,福井県,青森県)

期間 令和4年8月17日～令和4年12月28日

生活支援コーディネーターの ウォーキングマップ Vol.25

新型コロナウイルスが流行してから、しばらくお声がかからなかった「サロン支援」があり、ワクワクしながら上尾幌地区へ行ってきました。

当日、サロン前に地域内をウォーキングしたようで、すでに準備万端！

レクリエーションはスカット

ボールで、チーム戦と個人戦を行い白熱した戦いが繰り広げられました。

参加者の楽しそうな顔を見ると、感染予防に気をつけながら、こういった集まりが増えるといいなと思いました。

上尾幌老盛クラブ会長
の一打を見守ります。



■生活のちょっとした困りごと相談やおたすけ隊について■

厚岸町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 柏木 ☎0153-52-7752

ファミリーサポート会員になりませんか？

あっけし子育てサポートセンターでは、安心して子どもを預かる仕組みとして、提供会員、両方会員希望の方を対象に講習会を実施しています。

『ファミリーサポート講習会を受講して』

私には6歳と2歳の子供がおり、今年の4月に厚岸町へ転入しました。実家が町内ではないため、「用事があるとき子供たちを預けられる場所があるといいなあ」と思い、ファミサポの登録方法について窓口へお話を聞きに行ったところ、子供を受け入れている提供会員がとても少ないということを聞きました。

それならばと、私も提供会員としてお子さんをお預かりできれば我が子にとっても良い刺激になるし、少しでも受け入れ先が増えれば私のような小さい子供がいるお母さん方も預けやすくなるのではと考え、両方会員として活動してみようと思いました。

講座では、子供の発育と病気、栄養や安全について学び、保育所で実際に子供たちが遊んだり食事をしている様子を見学しました。

先日、講習会を実施した際に感想をいただきましたので紹介します。

《問合せ先》あっけし子育てサポートセンター
0153-52-7752（担当：柏木）

受講を終えて、事故やケガのないようにと改めて気持ちが引き締まったのと同時に、お子さんの心身の発達に少しでもプラスになる関わりができたという決意を新たにすることができました。

なお、講座の間、2歳の息子を提供会員さんが預かってくださったので安心して受講することができました。

これからは、保護者の方やお子さん安心していただけるよう、講座で得た知識を生かしながら、一人一人我が子と同じように、心を込めてお預かりできたらと思います。



消防職員による救急法
の様子

厚岸町老人クラブ連合会では、コロナ禍において感染防止に努めながら活動を再開しています。9月から多くの事業を行いましたので、その様子を紹介します。

社会奉仕の日～老人週間の奉仕活動～

9月22日(水)



隅々まで丁寧に磨き上げました

9月15日～21日までを老人週間として、高齢者の知識、経験や能力を活かした就労・社会参加・ボランティア活動を推進しようと、地域活動を行っています。

コロナ禍で2年間活動できていませんでしたが、今年度久しぶりに、特別養護老人ホーム心和園で車いすの清掃を行いました。車いすをピカピカに磨き上げ、心和園のみなさんからとても感謝されました。

3年ぶり！表彰式並びに会員研修交流会を開催しました 10月3日(月)

老人クラブ会員の活動の一端を発表し合い、会員相互の親交と友好を深め、多くの会員が集まる交流会において長年の老人クラブ活動の功労者顕彰を行う『会員研修交流会』を3年ぶりに開催しました。

感染防止のため、時間こそ短縮して行いましたが、久々に行われた演芸発表は、声を出さず拍手でエールを送り、会場はたいへん盛り上がりました。参加したみなさんは、「楽しかった」「来年も参加したい」と話し、盛況のうち幕を閉じました。



楽しそうに歌う姿が印象的でした

釧路地区老人クラブ連合会会員リーダー研修会 10月11日(火)12日(水)



防災について真剣に学びました

ひがし北海道市民防災サポート代表の辻川実講師による『市民防災の力で地域を守る』というテーマのもと、日ごろの生活に取り入れられる防災知識について多くの学びがありました。みなさん真剣に受講されていました。

この日は釧路市のニュー阿寒ホテルに1泊し、講義の後に温泉と夕食を楽しみました。

〈問い合わせ先〉

厚岸町老人クラブ連合会

事務局 0153-52-7752

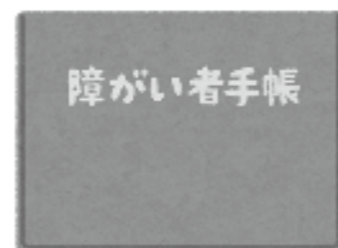


一緒に楽しんで活動する仲間を募集しています！

身体障害者福祉協会厚岸町分会では、障害福祉に関する研修（宿泊して温泉…もあります♪）や、釧路管内の分会との交流事業（スポーツ交流会や研修会）、新年会（盛り上がりますよ～！）などを行っています。

入会の条件としては、厚岸町内にお住まいで、身体障害者手帳の交付を受けている方。そして、ほかの会員さんたちと和気あいあいと過ごせる方であれば、どなたでも入会できます！

令和4年4月1日時点で、厚岸町には身体障害者手帳を保有している方が478名いるそうです。残念ながら、私たちにはそのほとんどの方と知り合う機会がありません。



あなたも会員になって、交流を深めませんか？
興味のある方は、事務局（担当・平山 ☎0153-52-7752）
までお気軽にご連絡ください(*^-^*)

活動のひとつコマを どうぞご覧ください

★新年のつどい

歌って踊って仮装して(!?)、皆さんと
にかく芸達者。
新年を笑って迎えます☆



★スポーツ交流会

ボッチャなど、障がいがあっても楽しめるスポーツを年に1回、釧路市内の体育館にて行います☆



★会員交流生きがい事業 ～町外研修旅行～

町外の障害者施設や体験学習などを行い、会員同士の交流や見聞を広めます☆



第2回 訪問介護のまめまめ知識



前は、「訪問介護って?」、「ホームヘルパーって?」についてお伝えしました。みなさんに大まかな内容について知っていただいた後は、「ホームヘルパーができない仕事」についてをお伝えします。

訪問介護を利用すると、ホームヘルパーができないことが意外と多いことにみなさん驚かれます。サービスを利用されている、今後サービスを利用される方にも知っていただきたいことの一つです。ホームヘルパーができない仕事は、大きく分けて次の2つです。

①医療行為

- ・血糖値測定
- ・インシュリン注射
- ・医師の診断が必要な傷を消毒したり、薬をつけたりすること

※自動の血圧測定器による血圧の測定は可能です。その数値から判断して服薬の指示等は認められていません。

(2)日常生活に支障がでない行為

- ・家具の移動や修理、電気器具の修理
- ・仏壇・神棚の掃除
- ・床のワックスかけ
- ・窓ガラス拭き
- ・嗜好品(酒、たばこ)の購入
- ・庭の草抜き

※次回は生活援助とは?を掲載予定です

②日常生活の範囲を超える家事代行

(1)本人以外に対すること

- ・家族分の食事を作ること
- ・家族の部屋の掃除や洗濯、買い物など
- ・来客の対応
- ・ペットに関すること(糞尿や抜け毛、散歩、ペット用品の買い物など)



☆職員紹介☆



指定訪問介護事業所 介護主任 加藤真奈美

令和4年10月より訪問介護事業所で勤務しております。以前は、特別養護老人ホーム心和園で14年勤務しておりました。

訪問の経験はありませんが、心和園での経験を活かし、お一人お一人の生活をお手伝いさせていただきたいと思っています。

生まれも育ちも厚岸なので、みなさまと会えるのを楽しみにしています。

第2回

ケアマネジャーのいるところ ～ 指定居宅介護支援事業所～

『ケアプランとはどのようなものなのか???』

前回は介護保険を使って介護サービスを受けるためには計画（ケアプラン）が必要という話をしました。

ではケアプランとはどのようなものなのでしょう？

介護保険サービスでは、介護が必要な方に対して、その方の心身の状態をふまえて、どのような介護サービスが必要か、またどのようなサービスを利用することが望ましいのか計画を立て、その計画に基づいて実際に介護サービスが行われます。それがケアプランです。

介護サービス等を利用する場合は、介護保険で利用できるサービスの量（支給限度額）が要介護度別に定められています。

（1ヶ月あたりの限度額：下記表のとおり）

要支援1	50,320円
要支援2	105,310円
要介護1	167,650円
要介護2	197,050円
要介護3	270,480円
要介護4	309,380円
要介護5	362,170円



担となります。

介護保険内で介護サービスを受けようと思ったら、大抵の場合、支給限度額内でサービスを抑える必要があるため、介護の状況や経済的な状況などもふまえて、介護サービス計画書は立てられています。

ケアプランはケアマネジャー（介護支援専門員）が立てるのが一般的ですが、実はご本人やご家族が作成することもできます。

しかし、ケアプランは一度作って終わりというものではなく、介護サービス事業者への予約・変更や毎月の関係書類の作成・届出など、様々な作業が伴います。ですので、ケアプランの作成はケアマネジャー（介護支援専門員）にご依頼いただくのが良いと思います。

次回は、「介護サービスを受けるのには何をすればいいの？」です。

1ヶ月あたりの利用限度額は？

限度額の範囲内でサービスを利用した場合は、1割（一定以上所得者の場合は2割又は3割）の自己負担です。もしもその限度額を超えてサービスを利用した場合は、超えた分が全額自己負

◆問合せ先◆

社会福祉法人厚岸町社会福祉協議会
指定居宅介護支援事業所
電話0153-53-4637

厚岸町立特別養護老人ホーム心和園だより

心和園及びデイサービスセンターでの

新型コロナウイルス陽性者の発生について

心和園では7月10日に施設内での新型コロナウイルス陽性者が発生し、施設内クラスターとなりました。保健所の指示のもと、8月11日に厳戒態勢が解除となるまで長期間に渡り、施設内の感染エリアの隔離、他エリアとの遮断、ご利用者・職員の健康観察を行っていました。

厚岸町在宅老人デイサービスセンターにおいても、ご利用者から陽性者が9月に複数名発生しましたが既に収束しております。

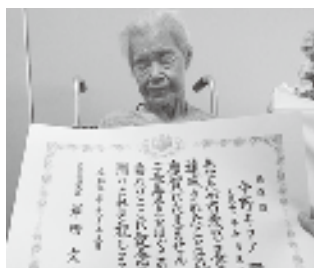
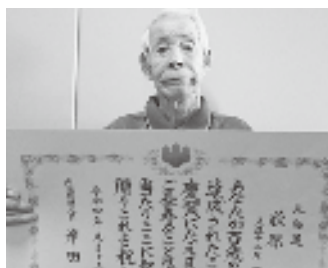
ご利用者、ご家族、地域のみなさま、関係各所のみなさまには、今回の新型コロナウイルス陽性者の発生に伴い、多大なご迷惑とご心配をお掛け致しましたことを心よりお詫び申し上げます。

心和園及びデイサービスセンターでは、手指消毒・マスク・フェイスシールドの着用・定期的な検温などの基本的な感染対策のほか、1週間に1回の全職員を対象とした抗原検査の実施、朝礼・会議などで多人数で密集しないようなビデオ会議の開催、ほかフロア職員との交差を少なくするなどの対応を継続しています。

今後もこの施設内感染を教訓として、これまで取り組んできた基本的な感染防止行動を施設全体で確実に実践しながら、再発防止に向け職員一丸となって取り組んでまいりますので、引き続きみなさまのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬老記念品授与式

9月15日に敬老記念品授与式を開催しました。昨年同様、新型コロナウイルス感染予防のため規模を縮小し、家族や来賓のみなさまの来園は遠慮いただいていたの開催となりました。厚岸町からの敬老祝金対象者は7名で、施設長から敬老祝金を贈呈し、記念撮影をしました。その他のみなさまにも敬老のお祝いとしてささやかながら祝品をお贈りしています。



敬老祝金を受け取ったみなさま、本当におめでとうございます。

スイーツイベント『ミニパフェ』

9月6日に第1フロア、9月20日にユニット、9月21日に第2フロアと各フロアにおいて、『選べるミニパフェ』を開催しました。パフェのフルーツは、キウイといちごの2種類、またパフェの中身はご利用者それぞれの飲み込みの状態に配慮し、シフォンケーキとプリンを組み合わせ、みなさんに、好きなパフェを選んでいただきました。どのフロアでも大変好評で、きれいに召し上がられていました。



[左] 本当においしそうなお笑顔ですね

[右] どれにしようか迷ってしまいますね

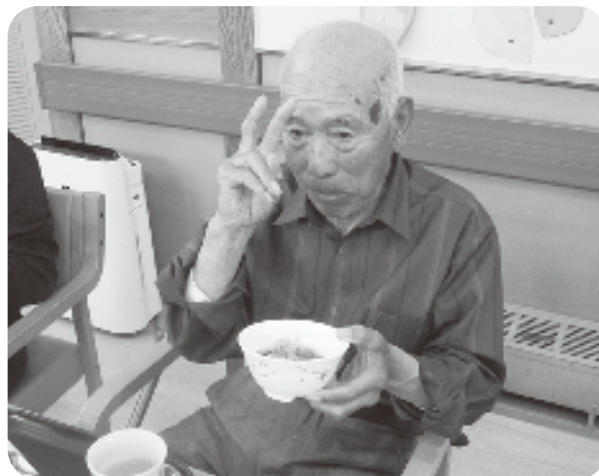
在宅老人デイサービスセンターだより

天ぷら VS フライ

6月20日、24日の2日間に昼食の選択ができる選択食を実施し、利用者にあらかじめ、『フライ定食』か『天ぷら定食』のどちらかを選んでいただき提供しました。

違うお膳のおかずも気になりながらも「おいしい」とみなさん食べられています。

今回は、天ぷら定食を選ぶ方が多かったようです。



〔左〕 天ぷら定食とフライ定食

〔右〕 笑顔とピースサインは美味しい証拠ですね！

予定していた行事が・・・

デイサービスセンターで予定していた行事が、新型コロナウイルスの影響で次々と中止になってしまいました。

8月の夏まつりは、管内での感染者数の急拡大に伴い中止。9月の敬老会は、ご利用者から

陽性者が発生。楽しみがどれもこれも中止となりましたが、敬老会で用意していた記念品は、日を改めて贈呈させていただきました。

ご利用者には、今後違う形での楽しみを提供できるように考えていきたいと思っております。

〇年未年始のお休みをお知らせします

デイサービスセンターは、12月31日から翌1月3日まで年末年始の休みになります。町からの委託事業である「生きがい活動支援事業」「身体障害者デイサービス事業」「身体障害者訪問入浴サービス事業」「配食サービス事業」も同様に休みになります。

詳しくは、厚岸町在宅老人デイサービスセンターTel0153-52-3901までご連絡ください。

〇お願い～デイサービスセンターでは、お迎えの際にご利用者と同居家族の体調確認をさせていただき感染防止に努めています。ご協力をお願いいたします。

法人本部の年末年始の休みが変わります

社協事務局・社会福祉センターなどの年末年始の休みは、従来12月31日から翌年1月5日まででしたが、今年度より12月29日から翌年1月3日までに変更となります。

よろしくお祈りします

◆年末年始の休みの変更は次のとおりです◆

社協事務局 12月29日から1月3日まで休み
社会福祉センター 12月29日から1月3日まで閉館
居宅介護支援事業所 12月29日から1月3日まで休み



第9回

あ っ け し の 輪

【Wa-akkeshi】

こんな時代だからこそ
人と人とのつながりを大切にしたい。

社協とのつながりに関係なく、町民の皆さんをリレー方式で紹介します。
今日この一歩が、未来の大きな一歩となりますように。

【あなたにとって社協とは】

住民が抱える問題について解決に向けてのアドバイスや協力を積極的に行ってくれるところ。近年では成年後見等、問題も多様化していると思います。私も住民の一人として少しでもお役に立てればと思います。

【コロナ禍で思うこと】

人と接するという事が大きく変わりました。仕事ではテレワーク、リモート会議、電子契約等全てではありませんがネット上で事が済む仕組みになりました。便利な面もありますが、何気なくしていた対面でのコミュニケーションが減った事に少し寂しさを感じます。



木嶋昌史さん (49)

★次回は、小林大輔 さん
木嶋さんから小林さんへ
「いつもありがとうございます。寒くなって来たので気を付けて趣味の登山を楽しんで下さい。」

【今後頑張りたい事、やってみたいこと】

宅建業を始めて10年になりますが、空家、空地が随分増えて来ています。この空家、空地を移住者の定住や長期滞在者に向けた住宅として活用する事を事業として進めていきたいです。

厚岸町社協広報『しゃっきー』

2022.11/No.188【編集】広報委員会(以下、委員)

米内山紘輝、柏木由起子、平山寿子、奥山夕紀
車塚香保里、小笠原晶子、加藤嘉史、本庄祐長

社会福祉法人厚岸町社会福祉協議会

〒088-1115 厚岸郡厚岸町梅香2丁目1番地

厚岸町社会福祉センター内

TEL 0153-52-7752 FAX 0153-52-6044